

未来の子どもたちへ（講評にかえて）

君たちが住む未来はどんな社会になっているだろうか？

どんなに便利な世界になっているだろうか？

人の心も豊かな社会になっているだろうか？

障害のある子どもたちはどんな生活を送っているのだろうか？

地域の中でともに遊び、ともに学び、人を愛し、ともに悩み、ともに働き、ともに老いる

というあたりまえのことができる社会となっているだろうか？

未来は障がいがあることでいじめられたり、差別されたり、無視されたりすることなく

ともに生きていける寛容な社会であってほしい。

誰しも抱える弱さをやさしく包み込む社会になっていることを切に望みたい。

そんな未来を君たちに託したい。

コロナ禍の中、今年も全国の小・中学生の皆さんから多くの作品を寄せていただきました。

未来の子どもたちが、障がいのあるなしにかかわらず豊かに生きることのできる社会とな

るためにこの活動を続けてまいります。

公益財団法人 日本知的障害者福祉協会

会長 井上 博